

YAMANASHI UNIV.
NEW YEAR
CONCERT



山梨大学合唱団
軽音楽部
邦楽部
マンドリンクラブ

PROGRAM

I マンドリンクラブ

ド ミ ノ			
ボルガ・マーチロシア民謡	編曲	平山英三郎
トロイカロシア民謡	編曲	平山英三郎
蝶々を主題とせる変奏曲作曲 服部 正	編曲	平山英三郎
海に來たれイタリヤ民謡		
マリア・マリ			
峠			
ミレーナ作曲 マチヨツキ		

II 合唱団

組曲 私の動物園作詞 阪田寛夫	作曲	大中 恩
お江戸日本橋	編曲	中村 義光
砂 山作詞 北原白秋	”	”
赤とんぼ作詞 三木露風	”	”
てるてる坊主作詞 浅原鏡村	”	”

▷.....休憩.....◁

III 邦楽部

六段の調八橋 檢校	作
千鳥の曲吉沢 檢校	作
飛躍久本 玄智	作
雲井獅子一朝 軒戯	作

IV 軽音楽部

ブルーブラザーズ

よいまち草、ロツク・アラウンド・ザ・クロシク、ピ・バツプ・ア・ルラ
煙が目にしみる、ブルース・オン・パレード
モーニン、マイアミ・ビーチ・ルンバ

ルアナ・ハワイアンズ

幸はここに、コニア・ウイカワイ、泣かないで、ふるさとハワイ
殺し屋のテーマ、南国の夜、月の夜は、ザフラオニオニエ

マンドリンクラブ

ド ミ ノ

この有名なフランスシャンソンは、非常に人々に愛好され現在までいろいろに編曲され、うたわれています。私達はこの曲をマンドリン特有の軽快な感じと哀愁をもつてお聞かせします。

ボルガマーチ

ロシア民謡数曲を取り入れてマーチ風に編曲したこの曲は、軽快活発で、我々の得意とする曲の一つです。力強く演奏に入つたのち、マンドリンソロになりますが、この技巧的なところをお聞き下さい。

トロイカ

原曲は馭者の悲しい恋の物語をうたつたものですが、日本ではとても明るい詩がつけられ親しまれています。恋人に会える喜びに胸をはずませて鈴の音も高らかにトロイカを走らせている馭者の様子を演奏します。

海に來れ

有名なイタリア民謡で御存知の方も多いと思います。遠い波の感じをマンドラで、近い波の感じをマンドリンで演奏し、静かな海岸に打ち寄せる波を表わしております。皆様を海辺に御案内できたら幸いと思っております。

蝶々を主題とせる変奏曲

皆様御存知の服部正作曲「蝶々」を平山英三郎が編曲したものです。この曲はテンポの推移が特徴で花から花へと忙がしく、またのんびりと舞う蝶を表現しております。

スパニツシュワイゼン

オットウ＝シツクの作りましたこのスパニツシュワイゼンはスペイン風の曲という意味で、一風変わった趣のある曲です。ことに後半の豪快さとその美しさはマンドリンならずしては味わえないでしょう。

峠

私達マンドリンクラブとしては初めてクラリネットを取り入れてみました。男性的な音色のクラリネットが女性的なフルートときそつて演奏し、他の曲とは趣の異つた軽快なものにしています。

ミレーナ M.マチヨツキ

作曲者はイタリアの生れ、非常に多くのマンドリンオリジナル曲を書いており、そのほとんどが「M」はじめ各ブレイクグループ団体によつて演奏されています。彼の傑作に数えられているこの曲はジブシーの娘「ミレーナ」の一生を描いたものといわれています。

部のあいさつ

今から2年ほど前に精密工学科1年生10名ほどで同好会という名の下にわれわれの部はお粗末ながら誕生し、幾多の曲折はありましたが、皆さんの御声援により、現在では部員60名ほどに成長致しました。今年是非とも定期演奏会をこのホールで行ないたいと部員一同頑張っております。

御 挨拶

皆様、本日はようこそおいで下さいました。

今年は日本に初めてオリンピックを迎え、現在活気あふれる準備が着々と進められております。私達も何か県民の皆様に御奉仕出来ればと思い、ここに山梨大学の音楽サークルが一堂に会して、新春音楽会を開催し、この催しによる益金を山梨県の社会福祉事業に役立てていただくということになりました。地方大学に学ぶ者の任務の一つとして、山梨県の教育文化の発展に寄与してゆかねばならない私達にとって、このような機会を得ました事は喜びにたえません。山梨大学の音楽活動も年を追って盛んになつて来ており、レベルの高い関東地方でも上位にランクされるようになりました。まだ至らない点があるかもしれませんが、今後ともよろしく御指導下さるようお願い致します。

終りに、この催しに御協力下さいました皆様方に深く感謝の意を表します。

山梨大学学友会
理事 長 福 間 忠 士

な し だ い

昭和24年6月、旧山梨師範、山梨高工、山梨青年師範学校を包括して新しいスタートを切つた山梨大学も今年で15年目を迎える事になりました。

この間、大学も幾多の曲折を経ながらも戦災から、立ち直り、工学部が新制大学中では全国的にみて最大の規模に発展し、数多い国立大学中でもユニークな存在をなすに致りました。

学生の気質も昔と今とは大分変つてしまつたようで、これは、学芸学部の場合は女子学生が7割、工学部の場合には他県からの遊学生が7割以上を占めるようになった事にも一因があるかと思われます。大学生がいつも心待ちにしているものの一つに休講があります。つまり講義が休みであるとの通知です。学生のくせにけしからんという御仁があるかもしれませんが、それはさておいて、こんな時天気の良い日などにわれわれが出かける場所の一つに愛宕山があります。昔の学生はここからさらに夢見山まで足をのぼしたそうですが最近あまり行く人を見かけません。この愛宕山の頂上から甲府盆地を見下ろし、眼下に見える舞鶴公園を、街並が切れて向うに横たわる釜無川を、そしてその向うに連なる南アルプスの山々をながめっているとあたりがずつとかすんできて、いつのまにやら故郷の事を想い浮べている事が良くあります。心親しい友と恋人、人生、哲学などについて語り合うのもこんな時です。またパチンコにも良く行きます。麻雀は余りしません。何故かどの大学の囲りにも必ずある麻雀荘街が梨大にはないのです。梨大生は存外まじめなんです。ホント、高校生の諸君、大いにハツスルして我等の仲間入りをして下さい。いつの日か一緒に飲もうじやありませんか。